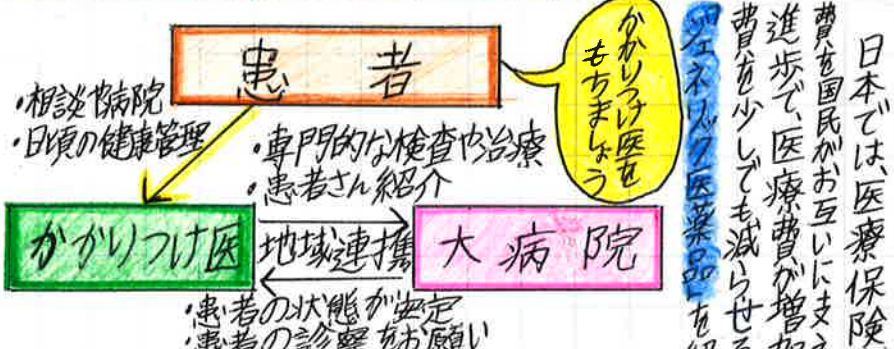


医療費新聞

発行者
春日中学校
二年五組
浅野 康陽

身近で頼りになる「かかりつけ医」



日本では、医療保険制度によって、突然の病気がケガで生じる医療費を国民がお互いに支え合って負担していますが、少子高齢化や医療の進歩で、医療費が増加し、支えていくことが難しくなっています。医療費を少しでも減らせるように、身近で取り組めよう。かかりつけ医を介して紹介します。

かかりつけ医とは、健康に関することなど幅広く相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要に応じては専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療・保健・福祉を担う総合的な能力を有する医師です。

かかりつけ医をもつことで、次のようなメリットがあります。

- ① 日頃の健康状態を知ってもらえる。
 - ② 病気の予防や早期発見・早期治療につながる。
 - ③ 症状に応じた専門家の紹介がスムーズ。
- 必要が時、適切に医療機関を紹介してくれる。

「かかりつけ医」をもち、安心！

かかりつけ医をもち、安心！

かかりつけ医をもち、安心！

かかりつけ医をもち、安心！

【八年連続四〇兆円を超える!!】日本の医療費、増えています!!

令和四年十一月厚労省から発表された国民医療費の概況によると、令和二年厚労省国民医療費は、四十二兆九千六百六十五億円で、平成二

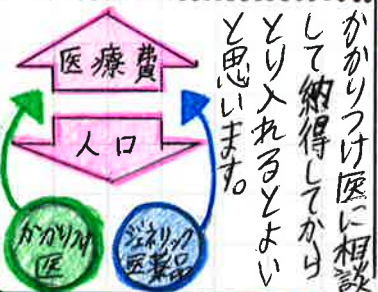
十五年度以来八年連続で四〇兆円を超え、過去最高額となつています。

総人口が最も多かった平成二十二年度と比較すると、総人口は約一五%減っていますが、医療費は約一五%増えています。

身近で頼りになる「かかりつけ医」をもち、安心！

医療費削減につながる「かかりつけ医」をもち、安心！

医療費削減につながる「かかりつけ医」をもち、安心！



＜編集後記＞

僕は小児科と歯科の「かかりつけ医」をもち、不安になった時は受診し相談することで安心することができています。ジェネリック医薬品は、初めて知った、自分の薬と違わらない、安心です。かかりつけ医にしっかり相談しながら、医療費を少しでも減らそうとしてみたいです。

低価格、でも安心！ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品は、新薬は九十七年まで新薬と同じ有効成分の年月、数百億円を使っている品質、以上の費用をかけて効き目、安全性が同等、開発されるので、開薬です。厳しい試験に合格し、厚生労働省の承認を受け、大臣の承認を受け、法的に製造・販売できる。国の基準法律に基づき、製造・販売されています。

ジェネリック医薬品は、新薬に比べて低価格で提供できます。

ジェネリック医薬品は、新薬に比べて低価格で提供できます。

ジェネリック医薬品は、新薬に比べて低価格で提供できます。

